

平成29年1月5日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼CEO 此下 竜矢
(コード2388 東証 J A S D A Q 市場)
問合せ先 開示担当 小竹 康博
(TEL 03-6225-2207)

GL 2017年に20ヶ国展開に

当社の重要な子会社でありますSET(タイ証券取引所)上場のDigital Finance会社Group Lease PCL(以下GL)は、2017年の目標について、昨日プレスリリースを公表いたしましたので、その内容を日本語にてご紹介いたします。

(以下、GL社公表のプレスリリースの翻訳)

2017年1月4日

件名：GL 2017年に20ヶ国展開に

タイ証券取引所(SET)上場企業でDigital Finance事業を手掛ける Group Lease Public Company Limited (GL)は、2017年にグローバル企業への成長過程として、極めて速い速度で拡大することが可能なGL独自のビジネスモデルDigital Finance事業においてアジアからアフリカ及び東ヨーロッパへと更なる海外進出に乗り出す。2017年目標としては現在のアジア地域7ヶ国から世界中20ヶ国での展開を目指す。

「我々のビジネスモデルDigital Finance Platformはどの国でも対応できる。だから我々は非常に速く事業を拡大することができるのです」とGL会長兼CEOの此下益司氏は述べた。南アフリカ訪問から帰国したばかりの此下氏は南アフリカ及び東ヨーロッパの新興経済において非常に大きな成長の可能性が見えたと言う。

GLはタイを本拠地としていたが、その後アジアにおいてシンガポール、カンボジア、ラオス、ミャンマー、インドネシア、スリランカと6ヶ国に進出を果たした。此下氏によると、来年のターゲットはアフリカと東ヨーロッパの13ヶ国に消費者ファイナンスとITを融合したGL独自のビジネスモデルを拡大させ、世界中20ヶ国での事業展開へと拡大を図るという。

此下氏の会長就任以降、GLは近年アセアン地域の新興市場への進出及び事業拡大に成功してきた。GLが独自に開発した極めて低コストかつ有効なビジネスモデルDigital Finance Platformを活用し、

利益は着実に上昇し続けた。

第3四半期の純利益は260.41百万タイバートを計上、8期連続での最高益更新となり、第3四半期までの9ヶ月累計純利益は738百万タイバートとなった。カンボジア市場における継続的で頑強な事業成長と比較的未開拓市場であるインドネシアでの巨大な事業成長の可能性などを考慮するとこれからも四半期における最高益更新は続くとGLの経営幹部は確信する。

昨年12月初旬に開催した株主総会において、スリランカ コロンボ証券取引所上場で非常に高い収益力を持つファイナンス会社Commercial Credit & Finance PLC (CCF)の株式29.99%取得と新興市場で成長著しいミャンマーのマイクロファイナンス会社BG Microfinance Myanmar (BGMM)の完全子会社化の提案について、株主の同意を得た。

アセアン地域で最も多い250百万の人口を持つインドネシアへの進出と合わせて、これからの買収は、GLの積極的な海外への事業進出の計画の一部であり、“大きな躍進”と表現している。

カンボジアやインドネシアなどでの既存事業の成長に、CCFやBGMM案件などのM&Aを加え、更に大規模な事業拡大に繋がっていく。

GL幹部は、CCF株式取得について非常に強気である。なぜならCCFは、経営状況もよく高収益な会社である。今年CCFは22百万米ドルの純利益を計上予定であり、来年は更におよそ30百万米ドルの上昇を見込んでいる。CCF株式29.99%の取得後、GLは今第4四半期から持ち分利益の取込を開始する。

現在CCFは、2017年の純利益について、最近の買収や他の既存事業からの収益貢献により、今年予定の10億タイバートからその約2倍まで伸ばせると見込んでいる。

此下氏は、2017年GLは“大躍進”政策によりアジアからアフリカ、東ヨーロッパへと進出し、本当のグローバル企業へと成長すると言う。

また此下氏は、最近アフリカ大陸の中心である南アフリカを訪問し、現地経済のダイナミズムにとっても感銘を受け、同時に東ヨーロッパの新興経済の大きな成長可能性を感じたと言う。

都市部や市街地に注力する一般的なファイナンス会社と異なり、GLは地方エリアの大きな人口層や貧困層から浮上した草の根経済圏の人々をターゲットとし、彼らの生活の質向上に繋がるオートバイ、農機具や電化製品などの生活必需品を提供している。

高マージンの消費者ファイナンスと有効かつ低コストのITシステムの融合により、GLは高収益かつ高速での事業拡大を可能としている。GLの最終目標は、25億人の顧客にサービスを提供するグローバル企業になることにある。

以 上